

11/10 福島県知事に要請書を提出！

「令和5年度予算編成に対する政策・制度の提言」



内堀知事に要請書を提出する澤田会長と副会長

連合福島は、11月10日（木）に内堀県知事に対して「令和5年度予算編成に対する政策・制度の提言」の要請を行った。要請には在福の連合福島副会長（政策委員）も同席した。

はじめに、澤田会長より、第22回福島県知事選挙勝利への祝意に続き「復興創生と県民生活の向上へのご尽力、連合福島の取り組みに対する支援・協力にも敬意を表し感謝申し上げます。連合福島は、『働くことを軸とする安心社会』の実現と県民生活の向上を目指し、例年県への政策・制度の要求と提言を実施している。今回、連合福島の政策委員が議論を重ね、構成組織、組合員の意見をまとめて6分野35項目に渡る

提言書の提出に至った。県財政が厳しいことは十分認識しているが、改めて県民の幸せのため、健康のため、復興のため、ぜひ福島県の令和5年度予算に反映していただきたい。」と挨拶した。

これに対し内堀知事からは、「来年度予算編成に向けて重要な項目について要請を受けたことを真剣に受け止めている。要請にある6分野はすべて重要であると認識している。特に今年度から県の新しい総合計画がスタートしている。そこで大事な視点にしているのが『人』、『暮らし』、『仕事』の三本柱であり、本日頂いた要請はそれに関わるものばかりであると認識している。さらに、現在、予算編成は基本的な骨格を作って作業を進めている最中であり、この6分野は予算編成の重点項目と重なるものと考えている。本日いただいた要請を参考にしながら施策をつくり、実行し、その成果を県民の皆さんに実感していただくことが重要である。これからの4年間はシンカ（進化、深化、新化）・改善を通じてひとつひとつ課題を解決し、政策を実現していきたい。またこれまで以上に県民の声を聴き、今後の県政に反映していきたい。今後も連合福島と意見交換しながら、生まれてよかった、住んでよかった、働いてよかった福島の実現に向けて取り組んでいきたい。」と挨拶があった。



要請参加者	役職	氏名	組織名	役職	氏名	組織名
	会長	澤田精一	自治労	副会長	大槻光政	電力総連
	副会長	澤村英行	自治労	副会長	高原英二	JAM
	副会長	荒川 聡	UA ゼンセン	副事務局長	前田伸吾	自治労